



パブリックヘルスにおける 社会科学的アプローチ： ヘルスコミュニケーション

人文社会科学系国際共同研究拠点では、拠点メンバーによる研究内容を広く知っていただくことを目指して、この度研究会を開催する運びとなりました。

第四回は、政策創造研究教育センターの河村洋子准教授より、「パブリックヘルスにおける社会科学的アプローチ：ヘルスコミュニケーション」について発表していただきます。

パブリックヘルスは公衆衛生と邦訳できますが、違いを強調するために敢えてカタカナ表記にしています。欧米のパブリックヘルスは様々な専門から社会的な課題に向き合う学際性の高いアプローチをとります。従って、その研究は実際の社会に起こっている課題を取り上げ、その解決策を考えていくというような極めて実践的なものです。

パブリックヘルスを構成する専門のなかでも、行動科学や健康教育、ヘルスプロモーション、そしてヘルスコミュニケーションは社会科学の領域です。これらの学問分野は、例えば病気のメカニズムなどの生物学、医学的な研究や特定の治療法を検証する臨床研究によるデータからなるエビデンスを、人の営み（社会や行動）に還元するのに欠かすことのできない役割を果たします。

今回は、日本では確立されているとは言えない「ヘルスコミュニケーション」の実践的な研究活動を紹介します。貴重な機会ですので、幅広い領域の研究者、教員、学生の皆様の参加をお待ちしております。

平成27年10月20日(火) 13:00~14:20

文法学部棟 2階 共用会議室

※事前申込は不要です。当日、直接会場にお越し下さい。

河村 洋子

(政策創造研究教育センター 准教授)

問合せ先: マーケティング推進部 研究推進ユニット 拠点担当

k-kyoten@jim.u.kumamoto-u.ac.jp (3308)

